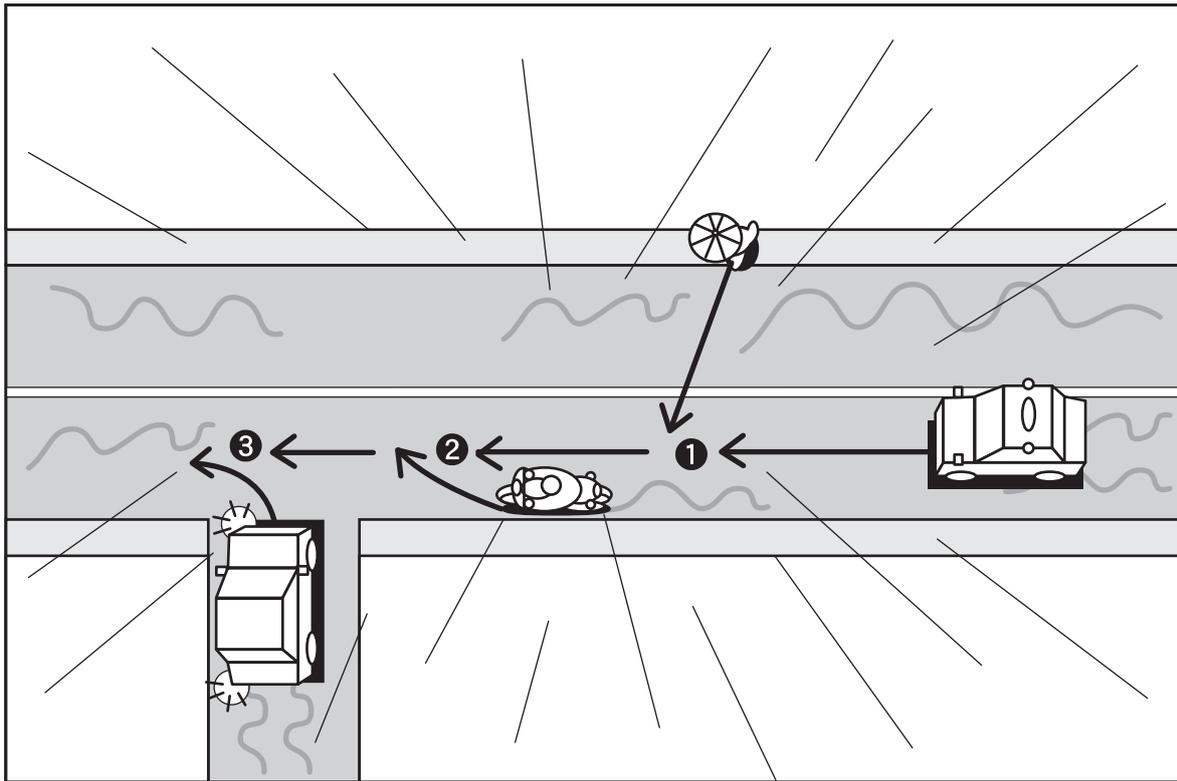


〔タクシー４〕雨天時の走行



1．主な危険要因の例

- ① 傘をさしているために視界が悪い歩行者が、車の接近に気付かずに道路を横断してくるとはねる危険がある。
- ② 前方左側の二輪車が脇道から出ようとしている車を避けるために、右側に進路変更してくると衝突する危険がある。
- ③ 脇道から左折して出ようとしている車が、二輪車の通過後に左折してくると衝突する危険がある。

2．安全運転の例

傘をさした歩行者は視界が悪く、車の接近に気付かずに横断してくることがあるので、歩行者の動向に十分注意する。

雨にさらされて走行する二輪車は、早く目的地に到着しようとして先を急ぎがちで、後方の確認をせずに進路変更することがあるので、進路変更が予測されるときは追越しや追い抜きをしない。

3．乗務員指導のポイント

雨天時は車だけでなく歩行者の視界も悪くなり、車が接近していてもそれに気づかず横断してくることがあるので、歩行者の動向に十分注意するよう指導する。

雨で濡れた路面は滑りやすくスリップしやすいことや、ブレーキをかけたときの制動距離も長くなり追突事故が発生しやすいので、乾いた路面のときよりも長めの車間距離をとるよう指導する。